

平成29年度地域少子化対策重点推進事業実施計画書（市町村分）

都道府県名 富山県

市 町 村 名	高岡地区広域圏事務組合		
事 業 名	広域婚活支援事業	所要 見込額	2,000 千円
実 施 期 間	平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日		
地域の実情と課題 （これまでの市町村における少子化対策の取組全体及びその効果検証等から浮かび上がった地域の実情と課題について記述）	高岡地区広域圏（高岡市、氷見市、小矢部市で構成）では、年少者の人口減少が続いており、その要因として、20代後半から30代の未婚率の高さが挙げられる。（平成22年国勢調査富山県との比較で、男性が2.5ポイント、女性が1ポイント程度高い。） 高岡地区広域圏事務組合では、平成28年度から仲人的な役割をする「縁結びボランティア」による婚活支援に取り組んでいるが、独身者よりもその家族、特に独身男性の親からの相談や問い合わせが非常に多い。それに対して独身者本人が婚活に消極的であったり、コミュニケーションに対する積極性が見られない傾向がある。単なる出会いの場づくりではなく、出会いの後も二人を後押しするなど、より積極的な支援が必要となっている。 また、構成市を含んだ近隣市町村の中でも、婚活を支援するボランティアによる「仲人」的な事業が開始され、一定の成果になってきているが、事業が継続されるにつれて、単独の自治体での結婚希望者のマッチングに限界があるという状況が浮かんできている。		
市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置づけ	当組合を構成する各市において策定が進められた総合戦略では、いずれも、少子化対策としての一連の事業、目標として、「結婚」の段階を含めた総合的な対策を掲げている。その中では、単独の事業に加えて、「広域的な取り組み」「隣接市との連携」に言及している状況にある。 圏域内各市の婚活支援の取り組みについては、5年前から事業を継続して実施しているところもあるが、1年未満のところもあり、市によって取り組み状況が異なっている。この現状を踏まえながら、当組合が構成市の事業を補完しつつ連携していくことで、市単独の事業を行うよりもマッチングの機会が増え、カップル成立数や成婚数の増加が期待される。 加えて、平成26年度から「とやまマリッジサポートセンター」が設置され、県下全域での情報端末を活用した婚活支援事業に着手されており、また平成28年度に富山県結婚支援ネットワークが形成されたことから、こうした事業とも連携協調をとりながら、総合的かつ広域的な婚活支援事業を実施していくものである。		
少子化対策全体の重要業績評価指標（KPI）及び定量的成果目標	・圏域内縁結びボランティアの活動による成婚数：H29までの累計20組、H31までの累計50組 ・セミナーやイベント実施後の参加者アンケート：「満足」の回答が70%（平成29年） 同アンケート：「満足」の回答が80%（平成31年）		
参 考 指 標	※婚姻数、婚姻率、出生数、出生率等 20代後半～30代未婚率（平成27年国勢調査結果より）（男性、女性） ・25～29歳：富山県73.6%、59.4%、高岡市73.1%、59.1%、氷見市 76.4%、62.3%、小矢部市75.0%、60.3% ・30～34歳：富山県47.9%、32.6%、高岡市48.8%、33.7%、氷見市 54.0%、36.3%、小矢部市53.3%、36.0% ・35～39歳：富山県36.2%、21.7%、高岡市37.2%、23.3%、氷見市 40.8%、22.9%、小矢部市39.6%、25.4%		
事 業 内 容	1 優良事例の横展開支援	所要 見込額	2,000 千円
	(1) 結婚に対する取組	所要 見込額	2,000 千円
	個別事業名 広域婚活支援事業	所要 見込額	2,000 千円
	個別事業名	所要 見込額	千円
	(2) 結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成	所要 見込額	千円
	個別事業名	所要 見込額	千円
	個別事業名	所要 見込額	千円
	2 結婚新生活支援	所要 見込額	千円
上記「事業内容」の「1」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無	無	「有」とした場合の事業名	

（注）

- 1 「地域の実情と課題」には、これまでの市町村における少子化対策の取組全体及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情と課題について記載する。
- 2 「市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置づけ」には、地域の実情及び課題を踏まえた、市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置づけを記載する。特に、本事業により、地域の課題がどのように解決されるかについて記載すること。
- 3 「少子化対策全体の重要業績評価指標（KPI）及び定量的成果目標」については、地域の実情及び課題を踏まえ設定した、市町村の少子化対策全体の重要業績評価指標（KPI）及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載する。また、各市町村は少なくとも平成29年度終了時点及び平成31年度終了時点に、各自治体において効果検証を実施し、都道府県にその結果を報告すること。
- 4 「参考指標」には、各市町村の婚姻数、婚姻率、出生数、出生率のほか、その他参考となる指標を記載するとともに、毎年、その推移を報告する。
- 5 「上記「事業内容」の「1」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無」は、地域少子化対策重点推進交付金との重複を排除するためのチェック欄です。（「無」が前提となります）
- 6 適宜参考となる資料を添付すること。

平成29年度地域少子化対策重点推進事業実施計画書（市町村分）個票

都道府県名 富山県
本事業の担当部局名 高岡地区広域圏事務組合

市 町 村 名	高岡地区広域圏事務組合
区 分	結婚に対する取組
関 連 事 業 メ ニ ュ ー	1-(2)
個 別 事 業 名	広域婚活支援事業
実 施 期 間	平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日
所 要 見 込 額	2,000 千円
各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置づけ	高岡地区広域圏事務組合が行う広域婚活支援事業では、①縁結びボランティアによる婚活支援、②県が行う結婚支援事業との協力・連携、③出会いのきっかけづくりの実施を三つの柱として、総合的な結婚への支援を行う。 広域縁結び推進事業では、その中でも重要となる縁結びボランティアによる結婚支援に重点をおき、ボランティアの活動を支援することでマッチングや引き合わせの増加、そして成婚カップルの誕生を目指す。ボランティアの情報交換の場となる定例会の開催、また活動経費の助成（一部負担）を行うことで負担軽減を図る。 ボランティアの育成については、初任者から経験者、さらに概ね経験2年以上のベテランボランティアに至るまで、各段階に応じた研修を実施し、困難事例にも対応できるボランティアを育成する。あわせて、イベントやセミナーにもボランティアに関わってもらうことで、婚活の現状を把握していただくとともに、参加者へこの事業を紹介する機会とする。 この事業は、単市での取り組みよりも、構成市とともに取り組むことでより広域の特性を生かせるものであり、3市ボランティア合同交流会を開催するなど、市域を超えた交流の場をより多く創出する。 今年度からの新たな取り組み事項としては、ボランティア支援事業では、すべてのサポート対象者に必ず一度は出会いのきっかけを提供できるよう工夫すること。また、ボランティアの育成面では、経験年数に応じた研修対応とすること。さらに、イベント・セミナーでは、ある程度の世代区分を設け、共通の話題づくりが可能な状況となるよう留意したい。
個別事業の内容	（個別事業の内容） ○ボランティアによる婚活支援…3市ボランティア対象 ・ボランティア養成講座・・・・・・325千円【委託料：325千円（内訳は次のとおり）】 参加目標人数 初任者・アドバンス研修40名 達成率100%、フォローアップ研修30名 達成率100% （ただし、研修時に各構成市の新規ボランティアが何名であるか現時点で不明のため参加人数不確定） 講師謝金50,000円×3名=150,000円、資料30,000円×2回=60,000円、35,000円×1回=35,000円 企画運営・消耗品購入等20,000円×2回=40,000円、40,000円×1回=40,000円 活動前に初任者研修：年1回10名（100千円）、半年後にフォローアップ研修：年1回30名（125千円） 2年経過のタイミングでアドバンス講座：年1回30名（100千円） ・ボランティア交流会：年2回 参加目標人数各40名 達成率各100%・・75千円【委託料：75千円（内訳は次のとおり）】 印刷代50,000円（各構成市イベント案内チラシカラー印刷（ボランティアに対象者へ周知していただく分） @20円×80名×30枚=48,000円、研修修了証カラー印刷@20円×80名=1,600円）、 お茶代25,000円（お茶のみ@312円×40名×2回=24,960円） フォローアップ研修後、3市のボランティアが交流する場を設ける ・ボランティア活動助成（面会の際にかかる交通費、通信費等）・・・・・・748千円 ボランティア活動助成金として、圏域内構成3市の婚活支援活動ボランティア団体に、 1人あたり定例会（年間）交通費5,000円と、対象者との面談又は引合せ1回につき1,000円を助成 @5,000円×80人+1,000円×348回=748,000円 ・役務費・・・・・・180千円 ボランティア保険@1,000円×80人=80,000円 郵便料（定例会通知、イベント案内等）100,000円 ・需用費・・・・・・118千円 消耗品 ボランティア名刺・名札、研修資料 84,000円 食糧費 ボランティア月例情報交換会お茶代 33,600円 ・賃借料 会場借料・・・・・・35千円 ○出会いの場の創出等 ・親向けセミナー：年1回 参加目標50名 達成率100%・・119千円【委託料：119千円（内訳は次のとおり）】 講師謝金50,000円、交通費10,000円、チラシ作成40,000円、企画運営等18,800円 独身の子を持つ親向けセミナーを開催 特定の価値観を押し付けたり、プレッシャーを与えたりする内容とならないこと、多様な生き方があることも尊重する内容となることに留意する（講義内容は高岡市男女平等・共同参画課に事前相談） ・婚活セミナー&イベント：年1回 参加目標人数40名 達成率100%・・400千円【委託料：400千円（内訳は次のとおり）】 チラシ作成130,000円（デザイン料31,000円、印刷代@30円×3,300部=99,000円）、 機材音響25,000円、司会30,000円、講師謝金50,000円、ホームページ20,000円、 企画運営費145,000円（人件費：正規スタッフ@1,875円×12時間×2人=45,000円、 補助スタッフ@1,125円×10時間×4人=45,000円、消耗品購入50,000円、印刷代5,000円） ※チラシ3,300部配布先→構成3市：各200部、ボランティア80名：各30部、まちづくり委員10名：各30部 出会いの場だけでなく、結婚に重要なポイントとなるコミュニケーション、 服装、写真等について学びの場となるようなイベントを行う 合計 2,000千円
	○次年度以降に向けた事業の方向性 ・年代ごとに分けた出会いの場を設けるイベントを設けること ・パーティや研修会場に式場やホテルを選び、場の雰囲気作りを考慮すること ・ボランティアの育成について、経験年数に応じた研修対応とすること
・都道府県との連携・役割分担の考え方及び具体的方法	当組合では婚活支援利用者ととよまリッジサポートセンターを紹介して利用促進を図り、また同センターが実施するセミナーやイベントの情報提供をいただいでそれをボランティアに提供することで、圏域住民の出会いの間口が広がるよう努めている。また、富山県結婚支援ネットワーク会議が設立され、各市町村の婚活情報を県のサイトに掲載していただけるようになったことから、組合の情報も積極的に提供していく。
・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法	これまで、縁結びボランティアの募集についてJA,保険会社、結婚式場等へ広報依頼をしてきたが、今後は当組合が行うイベントやサポート希望者の募集等についての広報を依頼し、イベント実施への協力については商工会議所との連携も検討する。
・個別事業の重要業績評価指標（KPI）及び定量的成果目標	・圏域内縁結びボランティアによるマッチング件数：600件 ・ボランティア養成講座参加目標人数：初任者・アドバンス研修40名、フォローアップ研修30名（達成率100%） ・ボランティア養成講座参加後のアンケート：「研修内容が今後の活動に役立つと思う」の回答が70% ・ボランティア交流会（年2回）参加目標人数：各40名（達成率100%） ・親向けセミナー参加目標人数：50名（達成率100%） ・親向けセミナー後のボランティア相談による新規登録数：5名 ・婚活セミナー&イベント（年1回）参加目標人数：40名（達成率100%） ・セミナー&イベントの実施後の参加者アンケート：「満足」の回答が70%
・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項	高岡市男女平等・共同参画課 （配慮すること） 事業内容全般にわたり、特定の価値観を押し付けたり、プレッシャーを与えたりしないこと、多様な生き方があることも尊重するように留意する。
・委託契約の際の契約方式	□①企画提案方式（プロポーザル方式、コンペ方式等） □②競争入札方式 ■③随意契約 [事業の内容：親向けセミナー、ボランティア向け研修、イベント等] （①を除く） [随契約の理由：県内で自治体が行う婚活事業の多くを手掛け、自治体婚活支援のノウハウや、実績があり、氷見市と小矢部市の事業も担当しているので、圏域内の婚活の取組み状況を考慮した上で事業を実施できる唯一の事業所であるため。]